

# VUCA 時代の政治社会学



第 14 回 総会・研究大会

2023 年 12 月 9 日・10 日 奈良女子大学



## 政治社会学会

政治社会学会2023年度研究大会（2023年12月9日、10日 奈良女子大学）

大会テーマ「VUCA時代の政治社会学」

2023年12月9日土曜日 会場：奈良女子大学法人本部棟奈良カレッジズ交流テラス

午前10時00分 理事長開会あいさつ（大賀哲）

午前10時5分 セッション1 自由論題発表

司会：泰松範行

\*20分発表、10分質疑、3件終了後、各論者を囲んで3つのテーブルに分かれ30分程度のグループディスカッション（予定）

- 「地方都市における多文化共生施策の実証研究－富山県射水市と高岡市の比較から」  
鈴木暁子（京都府立大学京都地域未来創造センター）
- “First Mover Disadvantage in Unequal Nuclear Rivalry: Negotiation Model of North Korean Peaceful Denuclearization”  
芝井清久（データサイエンス共同利用基盤施設）
- 「ポスト冷戦期アメリカにおける国益概念の変遷」  
岸本隼弥(九州大学)

午前12時00分 昼食休憩

午後1時00分 政治社会学会総会

午後1時30分 基調講演1 鈴木寛（東京大学）「VUCA時代の教育政策」

ご紹介 新川達郎 \*鈴木先生は映像出演

午後2時45分 企画委員会パネル・研究部会「COVID-19研究会」

Covid-19 大会セッション 「コロナ禍への政策対応評価と次なる課題」

司会 中村知子（茨城キリスト教大学）

- 午後2時45分-2時55分 「Covid-19PJの成果と今後：セッション企画趣旨説明」  
中村知子（茨城キリスト教大学）
- 午後2時55分-3時20分 「mRNAワクチンについての予備的調査」  
槇和男（メディエコ研究開発（株））
- 午後3時20分-午後4時05分 「21世紀型災害(Polycrisis)としてのCOVID-19パ

ンデミックで問われた政治社会学の課題」

三石博行（メディアエコ研究開発（株））

- 午後4時05分-午後4時30分 「感染症対策のこれから、日本のCDCは機能するか」  
新川達郎（同志社大学）
- 午後4時30分-5時00分 フリーディスカッション（提言：原田博夫・専修大学）

午後5時終了予定

懇親会 会場近郊で予定（後日ご案内いたします）

12月10日曜日 会場：奈良女子大学法人本部棟奈良カレッジズ交流テラス

午前10時00分 企画委員会パネル・研究部会「移民・難民研究会」

司会 加藤朋江（筑紫女学園大学）

コメンテーター 君塚宏（出入国管理庁）

- 「2023年の入管法改正をVUCAの視点から考える」  
共同報告：滝澤三郎（東洋英和女学院大学）・大茂矢由佳（埼玉大学・共同発表者）、  
\* 報告の一部はオンライン（ZOOM）

午前12時00分 昼食休憩

午後1時00分 基調講演2 「VUCA時代の平和と科学技術」吉川弘之（東京工科専門職  
大学学長）

司会 大賀哲

午後2時15分 シンポジウム「VUCA時代の政治社会学」

司会 市川颯（東洋大学）

シンポジスト：

原田博夫（専修大学）、

仲上健一（立命館大学）

アイスンウヤル楨林（同志社大学）

大賀哲（九州大学）

午後4時15分 閉会挨拶 市川颯（東洋大学）

